

第四回 貴族院議事速記録第二十四號

明治二十六年二月七日(火曜日)

午前十時四十分開議

議事日程 第二十四號 明治二十六年二月七日

午前十時開議

- 第一 度量衡法追加案(衆議院提出)
- 第二 辯護士法案(衆議院提出)

- 第一讀會(前會續)
- 第二讀會

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 停會中ニ於キマシテ島内武重君去ル一月二十

二日死去セラレマシタ、子爵勘解由小路資生君同月二十五日ニ薨去セラレマシタ、誠ニ悲シムベキ次第ゴザイマス、依ッテ二十七日ニ各、吊辭ヲ贈リマシテゴザイマス、是レハ即チ昨冬ノ議決ニ依リマシテ本席ニ於テ取計ヒマシタ次第、次ニ本日ノ議事日程ニ移リマス、度量衡法追加案第一讀會前會ノ續キヲ開キマス、前會ニ於キマシテ菊池君ガ御演說中ニ停會ノ 詔ヲ傳達ニナリマシテ中止ニナリマシタ、依ッテ菊池君ニ於テ發言ヲ繼續セラレマシテ宜シウゴザイマス、

〔菊池大麓君演壇ニ登ル〕

○菊池大麓君 諸君、私ハ停會前ニ本案ニ付キマシテ畧々意見ヲ述ベマシテ將ニ結論ニ至ラムトスル際ニ停會ニナリマシテゴザイマス、依ッテ唯今ヨリ引續キ意見ヲ述ベマスルデゴザイマス、併ナガラ全ク前ノ方ヲ述ベマセヌデハ稍々趣意ガ貫徹致サヌ恐ガアリマス、依ッテ重複ニハ涉リマスルケレドモ一應簡單ニ前ニ申シマシタコトヲ述ベタイト思ヒマス、依ッテ豫メ其御許ヲ請ヒマス、全體此度量衡法ニ付テハ第一ニ度量衡ノ本ヲ定ムルト云フコトト第二ニ度量衡器物ノ改良ヲ圖ルト云フ二ツノ目的ガアリマス、然シテ改良ノ方ノコトハ其構造等ハ省令ニ任セマシテ然シテ其監督ヲスルノハ検査ノ方法ヲ唯今ノ様ニ有レドモ無キガ……唯今デハアリマセヌデシタ當時ノ如ク有レドモ無キガ如キモノニセズシテ十分ナル檢定モ行ハウ、又地方廳並ニ村長郡長等ニ於テ十分ナル管理取締ヲスルコトニシタラバ都合ガ宜カラウト云フ趣意デゴザイマス、夫レ故ニ檢定ノ費用モ隨分掛ルデアラウト始カラ考ヘテ居リマス、夫レニ就テ當局者カラ畧々費用ノコトモ聞キマスシ、又其費用ヲ充タス方法モ聞キマス、即チ其費用ガ入ルタメニ手数料ヲ取ル……檢定ノ手数料ヲ取ル、其檢定ノ手数料ヲ取レバ夫レデ十分檢定ノ費用ヲ補ヘ

ルト云フ考デアリマス、檢定モ十分ニ行届イテ衡器使用者並ニ販賣者製作モ十分ニ便利ニナラレト考ヘマス、然ルニ檢定費ト云フモノハ非常ナル削減ヲサレマシタ次第デアリマシテ檢定モ十分行届キマス、又十分分ニ人民ノ便利ヲ計ルコトモドウシテモ出來ナイ様ナ有様デアリマス、シテ見ルト云フト前ノ度量衡法ノ通りニシテ置イテハ如何ニモ不便ガアル、桿秤ハ紐緒ガ餘程切レ易イモノデアアル、其切レルタビニタツタ縣下ニ一箇所シカナイ所ヘ持ッテ往クコト云フコトハドウモ是レハ不便デアアルコトハ夫レニ違ヒアリマセヌカラシテ衆議院ノ案ノ趣意ト云フモノハ賛成セザルヲ得ヌノデアリマス、檢定ノ方ハ費用ノ方カラモ不完全ニナリ又此緒紐ノ附換ニ就テモ幾ラカ檢定ノ完全ナルコトヲ破ルコトハ嘆クベキコトデアリマス、元々人民ノ便利ノタメニ出來タルナラバ左様ニ不便デハドウモ已ムヲ得ザル次第デゴザイマス、或ハ此桿秤ト云フモノハ一體元ガ不完全ナモノデアッテ十分ニ正確ニ物ヲ量ルト云フコトハ出來ナイ、又壞レ易イ品物デアリマス、夫レ故ニ多ク衡器ヲ使フ所ノ人々ニ於テハ慥ナルコト並ニ長持チノスル即チ構造ノ十分ナルコトヲ得ルタメニ此節デハ所謂臺秤……西洋形ノ臺秤ト云フモノヲ多ク使ヒマス、又携帯ノ便利ヲ考ヘルト金屬デ出來タ羅馬形ノ秤ガアリマシテ是レハ殆ト桿秤ト同シコトデ之ヲ用ヒルト丈夫デモアリ又正確ナル所ヲ量リ得ルノデアリマス、併ナガラ是レハ構造モ稍々十分デアリマス、依ッテ費用モ高マリマス、夫レ故ニ或ル貴重ナル物品ヲ量ルニハ是レ等ヲ用ヒルノハ適當デアリマスガ、左程貴重ナルモノヲ量ラナケレバ左様ニ高價ノモノヲ用ヒルコトハ到底出來ナイ、夫レ故ニ桿秤ノ不完全ナルモノヲモ存シテ置カナケレバナラス、存シテ置クコト云フト今ノ様ニ檢定ノ際ニ不便ガ起ルカラドウカシナケレバナラスコト云フコトガ起ル、夫レデ此衆議院ノ案ノ趣意ト云フモノハ大體ハ賛成デアリマス、併ナガラ衆議院案ノ儘デハ如何ニモ不調ベノ様ニ考ヘラレマス、ト云フノハ度量衡法ヲ此前ニ審查シマシタ時ハ一體ノ製作者ノ外ハ一切衡器ヲ作ルコトハナラス、或ハ修復スルコトガナラヌト云フヲ隨分不便デアアル、又衡器ノ改良ヲ圖ルコトモ出來ヌ、自分デ以テ此所ハ斯ウ云フ風ニシテ見タラ大層都合ガ善クナリハシナイカト云フ考ヲ起シテモ製作者ノ免許ヲ得ヌトサウ云フモノヲ拵ヘテモ直グト罰セラレルト云フコトデ勝手ニ出來ナイカラ詰マリ製作ノ營業ヲスルニハ免許ヲ得ナケレバナラス、即チ夫レヲ賣ルトキニハ檢定ヲ受ケナケレバナラス、又ドウ云フモノデモ營業ノ目的デ使フトキニハ總テ檢定ヲ受ケナケレバナラス、衡器ノ檢定ヲ得ルコトヲ……任セテ仕舞ッタノデアリマス、夫レ故ニ自分デ使フ所ノ秤ニ於テハ元ト製作者ガ作ッテ夫レヲ賣ル場合ニ於テハ其前ニ檢定ヲ受ケナケレバナラヌトカ或ハ人ガ夫レヲ買ッテ來テサウシテ夫レヲ私ニ使用スル場合ニハ夫

レヲドシナニ修覆ヲ加ヘヤウガドシナニ使用シヤウガ一向差岡ナイコトニナ
リマス、然ルニ衆議院案ノ通りニスルト云フコトサウ云フモノハ檢定ヲ……營
業ニ使フノデモ何デモ檢定ヲ受ケズトモ宜イコトニナル、詰マリ營業ニ使フ
所ノ桿秤デアツテハ自分ノ勝手次第ニ緒紐ヲ附替ヘテモ善イコト云フコトニナ
テ居リマス、然ルニ桿秤ハ緒紐ヲ替ヘヤウガドウシヤウガ檢定ヲ受ケナクテ
モ構ハスト云フコトニナツテハ到底衡器ノ取締ノ附クベキ筈ハアリマセヌ、衆
議院ノ趣意ハサウデナカラウト思ヒマス、現行法ノ第八條第二項ニ「製作ノ免
許ヲ得タル者ハ修覆及販賣ヲナスコトヲ得」トアリマスガドレデモ使ヘト云
フ趣意デハナイ、製作者修覆者或ハ販賣者ニ使ハセ其他ノモノハ檢定ヲ受ケ
ズトモ宜イト云フ考デアツタニ違ヒナイト本員ハ考ヘマス、所ガ案ガ不調ベ
デアツタカラ飛ンデモナイ間違ヲ起スコトニナルト思ヒマス、夫レ故ニ衆
議院案ノ通りデハ衆議院ノ趣意モ通ルマイ、又斯様ニ不取締ノコトヲ許ス譯
ニハ往カナイト考ヘマス、依ッテ斯ノ如ク修正シマシタ、ドウモ之ガタメ
ニ桿秤ト云フモノハ不完全ニナリマス、夫レ故ニ此茶トカ生絲トカ云フモノ
ヲ買出シニ廻ハル者ハ桿秤ヲ持ッテ買出シニ廻ハルコトガアル際ニ隨分生絲
ノ如キ貴重ナ品物ヲ不完全ナル桿秤ヲ持ッテ量リマス飛ンデモナイ結果
ヲ起シマスカラ實ニ嘆ズベキコトデアリマス、今日ノ有様デハ實ニ仕樣ガナ
イコトデアリマス、唯此ニ之ヲ幾ラ救ハウト云フ方法ガアルト思フノハ今
日ノ檢定デアツテモ總テ度量衡器ハ五年毎ニ檢定ヲ受ケナケレバナラヌコト
ニナツテ居リマスカラシテ五年目毎ニハ必ズ修覆者製造者ハ緒紐ヲ取
換ヘネバナラヌ、夫レヲ取換ヘルニハ檢定ヲ受ケナケレバナラヌ、茲ニ度量
衡法ノ第十一條地方廳ノ吏員並ニ村長ナドニ於テ十分ニ取締ヲスル監督ヲス
ルト云フコトガアリマスカラ先ヅ是レ等ノ所デ満足ヲシナケレバ今日ノ所已
ムヲ得ザルコトト考ヘマス、併ナガラ此案ガ通ルトキハ桿秤ト云フモノガ不
完全ニナルコトガ多クアルノデアアル、全體桿秤ト云フモノハ不完全デアアル
ニ尙ホ又不完全ナル傾ニナルト云フコトハ覺悟ヲ極メナケレバナリマセヌ、
夫レ故ニ私ハ此修正案ノ通りデアリマスルナラバ先ヅ今日ハ堪ヘベキコトデ
アラウト考ヘマスカラ即チ委員ノ修正通りニ可決ニナルコトヲ冀望致シマ
ス、勿論委員ノ修正通りデアリマスカラ能ク此所ニ登ル必要ハアリマセヌガ
此案ニ付テ夫レ丈ケノ不完全ヲ來スコトデアルト云フコトヲ明言シテ置カナ
ケレバナリマセヌト考ヘマス、唯之ヲ默々ノ内ニ通過致ス譯ニハ參リマセヌ
ト考ヘマス、殊ニ斯様ナ不取締ノ案ニ付テハ是レガ通ッテモ差岡ナイト云フ
様ナコトハ甚ダ不都合ナコトデアラウト考ヘマス、依ッテ是レモ一言明言セ
ザルヲ得マセヌ、其タメニ今日登壇ヲ致シマシタ譯デアリマス、
○政府委員(西村捨三君) 此度量衡法追加案ニ付キマシテ先達テノ會議ノ

節ニ特別委員會ノ會長ノ箕作君ヨリ此衆議院ノ提出案ニ付キマシテ修正ノ理
由ヲ段々御述ベニナリマシタ、尙ホ菊池大麓君ヨリ詰マル所餘儀ナイコトデ
アラウガ桿秤ハ隨分不完全ノモノト見ザルヲ得ヌノハ残念ナコトデアルト云
フコトハ前會ヨリ今會ニ引續イテノ御演說デアリマシタガ、此案ニ付キマシ
テ御質問ガ菊池大麓君ヨリ起リマシタトキニ拙者モ申述ベマシタ如ク此案ハ
初期ノ議會ニアツテ兩院トモ劈頭第一ト申スベキ所デ目出度ク通過シタ法案
デゴザリマス、之ヲ本年ノ一月一日ヨリ施行スル間モナク斯ノ如ク修正ヲ
加ヘヤウト云フコトハ頗ル政府ニ於テモ望マスコトデアリ、此議院ニ於テモ
望マシイコトデアリマセヌ、併シ實際ニ於キマシテ如何トモ致シ方ガナイ
情況デゴザリマス、嘗テ此案ノ起リマシタ譯ハ段々衡器ノ製作者ニ就キマシ
テ追々取調ヲ致シマシテゴザリマス、然リマスル所ガ何分桿秤ト申スモノハ
如何トモ仕樣ガナイト云フ情況デアリマス、併ナガラ取紐ニ麻ヲ用ヒ又桿秤
ニ木屬ヲ用ヒルノハ即チ勅令省令ナドノ上ニ於テ物質上許シテアリマス、此
物質上木ニ絲ヲ維グト云フコトガアリマシテ何分ドウモ檢定ト云フコトハ取
除ケル條々ガ澤山アリマス、内ニ先ヅ小サナ秤ハ差置キマシテ大キイ秤ノ或
ハ十五六貫トカ五六貫モ量ル桿秤ニ至リマシテハ所謂取紐ト云フモノガ極
柔カイ麻デ附ケテアル、麻ノ性質ハ段々取紐シマスレバ關東ノ野州ノ岡地ト
カ云フ所ヨリ出ル堅質ナル麻ヲ以テ附ケテアリマス、併ナガラ燃リ方ハ極ザ
ツクリトシタ燃リ方デ又緒紐ノ燃リ方モ矢張り麻紐ノ三ツ線ト云フモノデゴ
ザリマス、餘リ粗造ノ様ナ構造デゴザイマスルナリ是レハ舊器ノミナラズ新
器モサウ云フ様ナ仕方デシテアリマスカラスノ如ク是レカラ先キ度量衡ノ改
良ヲ圖ラナケレバナラヌ時ガ至ッタ、ドウカ此度量衡ノ構造ヲ改良シナケレ
バナラヌ、少シ堅固ナルモノニシタラバドウダラウト云フノデ或ハ絹絲ヲ用
ヒ或ハ革ヲ用ヒ又麻ヲ用ヒテ三ツ燃リテ又三ツ燃リニシタラ宜カラウト云フ
相談ヲシテ又鍾紐モ是レモ三ツ燃リテ三ツ燃リニシテ使ッタラ宜カラウ、取
紐ノ如キモ親指ノ様ナ太イノモアリマス、又鍾紐ノ如キハ小指ノ半分位ノモ
ノモアル、然ルニドウモサウナラヌ、ナゼサウナラヌト申シマスト譬ヘバ麻絲
ノ三ツ燃リテ三ツ燃リニ致シマシテモ大變堅イノデアリマス、譬ヘバ米ノ目
方ヲ量ルトキニハ一日ニ二百俵モ三百俵モ載セテ三日モ四日モ掛ッテ千石モ
量ルコトハ堅イ草デアルトカ或ハ又麻紐ノ極堅イモノデアレバ摩レテ擔キ上
ゲルニ背中ガ堪ラヌノミナラズサラリサラリト滑ッテドウモ秤リニクイ、又
鍾紐ノ如キハ手デアチラヘ寄セコチラヘ寄セシナケレバナラヌ、是レモ一日
ニ數百數千ノ物ヲ取扱ハナケレバナラヌカラ手ノ皮ガ剝ケル、夫レモ已ムヲ
得ナイ仕方ガナイガ之ヲ絹絲ニスレバ費用ガ餘計掛ル、餘計掛ルノミナラズ
絹ノ絲デモ柔カナモノデ往カヌ、矢張り堅イモノデナケレバイカヌガ麻絲ニ

比スレバ弱イ、又鍾絲ハ琴絲ミタ様ナモノヲ三筋モ合セル、是レデハ手毛肩モ堪マラズ迎モ出來得ル限デナイ、又追モ臺秤ヲ用ヒマス又羅馬形ノ金屬ノ物指ヲ用ヒマスガ此金屬ノ物指ト云フモノハ大抵二割、二倍カラ五倍マデ掛ルガ此木ノ竿ノ秤ニ比ベマスルト高ウゴザイマス、迎モ今日ノ民度ニシテハ都會ノ土地トカ開港ノ土地トカ云フ様ナ物品出入ノ頻繁ナル土地、又ハ海外ニ取引ガアル所ハ金屬ノ秤ヲ用ヒラレマセウガ、山間ノ土地ニ於テ椎茸ヤ干瓢ヲ秤リ米ヲ秤リ麥ヲ秤ルト云フハ木ニ竹ヲ繼グデハゴザイマセウガ木ニ絲ヲ附ケル今日ノ秤デナケレバ……譬ヘバ紙屑買ガ一日ニ纔カニ二十錢足ラズノ資本デ以テ舊ノデハ四十錢位デアアルケレドモ新規ノデハ五十七錢バカリ掛ル、是レハ即チ構造ヲ宜クシタ所以デアリマス、之ヲサーベるノ形ニ似寄ッタ金屬ノ秤ニシヤウト云フデモ是レハ用ヒ切レヌ、斯ノ如キ次第デアリマスカラ度量衡法ニ於テ絹絲ヲ避ケル今日ノ便宜ヲ許シテ置ク限ハ檢定ノ届カヌ所ハ餘儀ナイ、檢定ヲ受ケルニハ八錢バカリ掛ル、其八錢位ノ檢定料ノタメニ遠州境カラ善光寺マデモ持つテ往カナケレバナラス、是レハ東京ニハ少イガ賤業ヲ營ム者ガ檢定料ヲ拂フタメニ數日間待ッテ居ラヌナラヌカラ迎モ檢定ガ届カヌノデ、左様ナ次第デアリマスカラ衡器ノ最重要ナル緒絲ノ檢定ヲ緩メルト云フコトハ餘儀ナイ次第デアルト考ヘマス、又此法律ヲ追加致シマス以上ハ夫レ等ノ上ヘ持つテ行ッテ澤山ノ取締方ガ附カウト思フ、或ハ販賣者ノ衡器ヲ修復シヤウト云フモノハ一々正式デ願出デ又其物ヲ自分ニ備ヘル……又一年ニ一度位檢定ヲ經ナケレバナラス、或ハ差狂ヲ發見シタトキニハ檢定吏員ニ届ケ町村長ニ届出デテ取締ヲ附ケテ十分ニ往カウト思フ、即チ本法十一條ニ地方取締ノ明條ガアリマスカラ此法律ガ通過致シマシタ以上ハ案ジマス程ソコトハゴザイマセヌ、取締ハ附カウト思ヒマス、他日段々民度モ進ミマシテ盡ク都會ノ土地ノ如ク臺秤ヲ用ヒ或ハ金屬ヲ用ヒルト云フ場合ニナッテハ斯ノ如キ手數モ入ラヌデゴザイマセウガ何分此桿秤ヲ許シテ居ル此麻絲ナリ取締ナリヲ許シテ居ル以上ハ餘儀ナク此修正ハ追加ヲシナケレバナラスト考ヘマス、宜シク此修正通りニ御賛成アラムコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段ニ御發言ガゴザリマセネバ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、
○箕作麟祥君 度量衡法追加案ニ付キマシテハ一讀會ニ方ッテ別ニ此委員ノ修正ガ宜シクナイト云フ說ハゴザリマセナカッタ様ニ存ジマス、唯今二讀會ヲ開クコトニ大多數ヲ以テ決シマシタガ此案ハ格別異議モゴザリマセヌト

存ジマス、又簡單ナ法案デモゴザリマスシ、即チ二讀會ヲ時日ヲ短縮致シマシテ本日引續キ是レヨリ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○三浦安君 箕作君ノ御說モゴザイマシタガ外ニモ案モゴザイマスシ又サウ急グコトモゴザイマセヌカラ定規通りニアラムコトヲ……

○男爵小松行正君 本員モ箕作君ニ賛成ヲ致シマス、併ナガラ本員ハ少シ違ヒマス、議院法第二十七條ニ依テ三讀會ヲ省略シテ直ニ確定議ニ至ラムコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小松君ニ御注意致シマスガ、夫レハ發言スル場合デハナイト存ジマス、既ニ二讀會ニ移ラムトスルノデ三讀會ノ順序ヲ履ミツ、アルノデアリマス、

○男爵小松行正君 然ラバ箕作君ノ說ヲ賛成、

○子爵内藤政共君 箕作君ノ動議ハ成立ッテ居ルコト考ヘマスカラ別段賛成ヲ致シマセヌガ未ダ成立ッテ居リマセヌノナラ更メテ賛成ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス、成立ッテ居ルノデゴザイマス……箕作君ノ動議ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フ動議デスナ、

○箕作麟祥君 其通りデアリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今ノ箕作君ノ說ニ付テ決ヲ採リマス、
○公爵近衛篤磨君 是レハ議事日程ノ變更デ政府ニ同意ヲ求メルノデスカドウ云フコトニ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 政府ノ同意ヲ求ムルモノト認メマス、

○公爵近衛篤磨君 ソンナラ其積リデ賛成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 箕作君ノ說ハ即チ議事日程ノ變更ニナリマシテ直ニ二讀會ヲ開クト云フ說デアリマス、之ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ政府ニ同意ヲ求メルコトニ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 政府ノ同意ヲ得マシタニ依ッテ直ニ二讀會ヲ開キマス、本案ハ至ッテ短簡ナル案デゴザイマスニ依ッテ全文ヲ問題ト致シマス、朗讀ヲ致サセマス、

(木内書記官朗讀)

度量衡法追加案
度量衡法第八條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
販賣ノ免許ヲ得タル者ハ桿秤ノ緒紐及鍾絲ニシテ金屬タルヲ要セサルモ

ノニ限リ修覆ヲ爲スコトヲ得

度量衡法第九條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

桿秤ノ緒紐及鍾絲ニシテ金屬タルヲ要セサルモノ、修覆ハ檢定ヲ要セス

〔木内書記官 委員會ノ修正ヲ讀ミマス〕ト述フ

〔木内書記官朗讀〕

販賣ノ免許ヲ得タル者ハ桿秤ノ取緒及鍾絲ニシテ金屬ニアラサルモノニ限リ修覆ヲ爲スコトヲ得

度量衡法第九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

製作者、修覆者及販賣者桿秤ノ取緒及鍾絲ニシテ金屬ニアラサルモノ、修覆ヲナシタルトキハ其檢定ヲ受クルコトヲ要セス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御發言ガナイト存ジマスニ依ッテ決ヲ採リマス、即チ唯今朗讀ニナリマシタル全文ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、

○箕作麟祥君 是レハ唯今二讀會ヲ了リマシタニ依ッテ引續キマシテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス、

○男爵小松行正君 賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 箕作君ノ動議ノ決ヲ採リマス、箕作君ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

過半数デゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 政府ノ同意ヲ得マシテゴザリマスニ依ッテ直

ニ三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス、

○菊池大麓君 本案ハ委員修正案通りニ第二讀會ニ於テ可決ニナッタモノト考ヘマスガ、夫レニ違ヒゴザイマセヌカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 全ク其通りト認メテ居リマス、直ニ決ヲ採リマス、即チ第二讀會ノ決議案ガ原案ニナッテ居リマス、原案ヲ可トスル諸君

ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、依ッテ本案ハ可決セラ

レマシテゴザリマス、次ニ辯護士法案第二讀會ヲ開キマス、逐條朗讀ヲ致サセマス、

〔木内書記官朗讀〕

辯護士法

第一章 辯護士ノ資格及職務

第一條 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ命令ニ從ヒ通常裁判所ニ於テ法律ニ定メタル職務ヲ行フモノトス但特別法ニ因リ特別裁判所ニ於テ其職務ヲ行フコトヲ妨ケス

第二條 辯護士タラント欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一 日本臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル成年以上ノ男子タルコト

第二 辯護士試験規則ニ依リ二回ノ試験ニ及第シタルコト

〔木内書記官「委員會ノ修正デハ二回ト云フノガ削レテ居リマス」ト述フ〕

第三條 辯護士試験ハ第一回ニ於テ學識ヲ試験シ第二回ニ於テ實務ヲ試験

ス
試驗及實務修習ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム
委員會修正

辯護士試験ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

○松岡康毅君 本員ハ此委員會ニ於キマシテ修正ニナッタ修正說ヲ否トシテ原案ヲ可トスル說ヲ持シテ居リマス、簡短デゴザイマスカラ茲デ申述ベマス、二回ノ試験ト申シマスノガ此原案ノ二條三條ノ趣旨デゴザイマシタガ委員會ニ於テ夫レヲ削ッテ總テ一回ノ試験ト云フコトニナリマシタ、デ本員ハ前一讀會ノ節ニハ所勞デ缺席致シマシタ、其後速記録ヲ見テ委員會ノ旨趣ヲ略

心得タコトデゴザイマス、原案ノ二回ノ試験ヲ要スル所ノ事柄……理由ト申スモノモ凡ソ此委員長ノ報告ノ中ニ現レテ居リマスカラ其必要ノ點ヲ今茲ニ格別申スマデモゴザイマスマイガ二回ヲ削ッタト申ス委員會ノ旨趣ニ對シテ聊カ辯ジマスレバ夫レ分ラウト思ヒマス、扱委員會デ之ヲ二回ノ試験ヲ一回ニ改メタ所ノ要用ノ廉ヲ舉ゲマスルト第一辯護士ト云フ者ヲ判事檢事ナ

ドト同等ノ者ニシヤウト云フ原案ノ精神デアルガ夫レハ抑、間違デアルト云フ是レガ委員會ノ先ヅ第一番ノ旨趣ト見エマスガ、此間違ト云フ言葉ハドコヲ指シテ言ハレラレタコトカ、構成法ノ……裁判所構成法ノ旨趣ニ於キマシテ

ハ固ヨリ此辯護士ト云フ者ノ能力ト云フモノハ裁判官タル者ト殆ド同様ナル能力ヲ要スルコトハ當然デアリマス、此判事檢事ト同等ノ者トスル說ガ間違

ダト云フノハ裁判所構成法ガ間違ダト云フ委員會ノ旨趣デゴザイマシタカ、或ハ提出シタル政府ヨリ政府委員ノ演說デモシタコトヲ指シテ申サレタカ知

レマセヌガ、孰ニシテモ此間違ダト云フ說ガ即チ間違ダラウト思フノデ、構成

法ノ精神ハ抑、此辯護士ナル者ヲシテ學力モ能力モ殆ド判事モ檢事モ同様

成法ノ精神ハ抑、此辯護士ナル者ヲシテ學力モ能力モ殆ド判事モ檢事モ同様

成法ノ精神ハ抑、此辯護士ナル者ヲシテ學力モ能力モ殆ド判事モ檢事モ同様

ノモノニサセルト云フ目的ハ慥ニ違ナイコトデゴザイマシテ、即チ辯護士ヲシテ居ルハ年數ニ依レバ直ニ控訴院ノ判事ニナレル又ハ大審院ノ判事ニモ行カレルト云フ様ニ判事タル者檢事タル者ト同等ノ能力ノアル者トスル趣意デゴザイマスカラ二回ノ試験ヲ求メテ來ル……要スルコト云フコトハ夫レヨリ自然ニ生ズル譯デゴザイマシテ、此判事檢事ト同等ノ者トスルノガ間違ダト云フノガ本源此委員會ノ修正ヲシタ所ノ據リ所デゴザイマセウガ、ソコガドウモ恐ラク間違デアラウト考ヘルコトデゴザイマス、サウシテ其間違ト云ヘバ飽クマデモ二回ノ試験ナドハ入ラナイモノダト云フ譯デゴザイマスノニサウデモナイ様デゴザイマス、今日マデハ一回ノ試験ト云フモノデ濟ンデ居ルノニ俄ニ二回ノ試験ヲ要スルト云フノハ變遷ガ急激ニ失スルカラ是レハ追々ニスル方ガ宜カラウト云フノデ、シテ見ルト矢張り二回ノ試験ニシテ高尚ナ能力ヲ要スルト云フコトハアルケレドモ今スルガ惡ルイト云フ時期ノ早イ晚イヲ論ズル様ニモ聞エマス、サウスルト間違ト云フコトハ自ラ取消シタ様ニモ聞エル、夫レカラ其今日ハ或ハ社會ノ狀況ガ法律學ヲ修メル者ハ成ル丈ケ獎勵シテ行カヌナラヌコトデアル、夫レ故ニ急激ノ變遷ヲ行ハナイ様ニシテ徐々ニ改革スルノガ必要デアラウト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、固ヨリ此法律學ノ進歩シテ行クト云フコトハ國家ノ上ニモ必要デゴザイマス、併シ代言人ヲ容易ニ多ク作ツタカラ夫レガ法律學ヲ獎勵スル方法ト云フモノデハナイグラウト思ヒマス、法律學ハ國民一般ニ必要ナモノデゴザイマスガ特ニ公ケノ職務ヲ執ル者ニ付テハ十分ナル精確ヲ要シテ夫レノ試験ヲシテ遇上ニモ關係ヲ持ツテ來ルト云フコトハ少シモ法律學ヲ獎勵スル妨トナル筈ハナクシテ却ツテ猥リナル法律家ト稱スル者ガ様々殖エテ却ツテ弊害ヲナス様ニナレバ往ク往ク夫レガ法律學ノ進歩ヲ妨ゲル様ニナルカモ知レマセヌ、獨リ代言人ニナルバカリガ法律學アリマセヌカラ辯護士ニナル所ノ嚴重ナル試験法ガ定ツタカラト夫レデ法律學ガ退歩スルト云フ憂ハナカリサウニ思ヒマス、最モ此中ニ必要ナ點ト見受ケマスノハ裁判所構成法ニ於テ三年以上帝國大學法科教授若クハ辯護士タル者ハ試験ヲ要セズシテ判事檢事ニ任セラル云々ト云フノヲ解釋シマシテ是レハ判事檢事ニ任ゼラルベシト云フ意味デハナク判事檢事トナリ得ル資格ガ出來ルト定メタコトデアルカラ夫レ故ニ判事檢事ト同一ノ試験ヲ受ケサセバナラヌト云フ道理モ出ナイ又必要モナイト斯ウ申シマスガ夫レハ誠ニ如何ナ委員會ノ見解カ、少シ了解ニ苦ミマスノハ固ヨリ辯護士タル者ガ判事檢事ニナリ得ラル、權利ガ直ニナルト云フ權利ノアルト云フコトノナイノハ知レ切ツタ話デゴザイマス、例ヘバ憲法ニ日本臣民タル者ハ法律ニ定ムル資格ヲ備ヘタルト云フコトヲ得ルトゴザイマスガ必シモ文武官ニ實際ナルト云フコトデハナイ、ケレドモナリ得ルト

云フ資格ヲ備ヘナケレバナラス、其ナリ得ルト云フ資格ヲ備ヘナイトキニハ日本臣民デ云ヘバ日本臣民タル者ノ分限ヲ越エタモノデアル、辯護士タル者ガ判事檢事タルコトヲ得ルト云フ資格ヲ得ラル、コトニナツテ居ナケレバ甚ダ辯護士タルノ分限ノ上ニ於テ缺ケノアルコトデゴザイマス、是レハ當ニ資格ヲ得ルト云フ丈ケデアルカラ夫レ程ノ試験ヲシテ嚴重ニシナクモ宜イト云フコトハドウモ少シ了解ニ苦シム所ノコトデゴザイマス、一番實際ノ上ニ是レマデ廣ク涉ッテ居ルダラウト思ヒマスノハ委員會ノ說デ今田舎ノ裁判所等ニハ至ッテ代言人等ガ少イ、況ヤ學者ナドモ少イ、夫レヲ嚴重ナコトヲシテ往クトキニハ中々行ハレコトハナイカラ夫レヲ多クスルガ宜イカラ容易ニシテ拵ヘヤウ……一應實際ニ合フ様ナコトニモ聞エマスガ是レモマダ不十分、成程田舎ノ隅マデ學士ヤ博士ガ代言人ニナリ涉ッテハ居リマセヌケレドモ併シ今日ハ隨分法律學ヲスル者ガ官立ノ學校ハ無論私立ノ認可學校ニ於テモ年々數百人ノ卒業生ガ出テ來ル、現在ノ所ハドウカト云ヘバ此辯護士法案ガ施行ニナリマシテ從來代言人ヲシテ居ル人間ニハ差留メル譯デナク矢張り今日通リニ仕事ハ出來マス、シテ見レバ後トカラ出テ來ル人間ヲ多少月日ガ遅クナツテ參リマシテモ俄ニ夫レガタメニ差支ガ起ルト云フ様ナ事柄ハナイト思ヒマス、矢張りドウモ進歩シテ參リマスニハ一定ノ方針ヲ定メテ夫レニ向ケテ參ラスケレバ今容易ニ試験法ヲ設ケテ置イテ他日ニナツテ徐々トスルモ矢張り其時ニナツテ一回ノ試験ニナツテ居ルモノヲ二度ニスルハ急激ニ進歩ヲ妨ゲルト云フコトモ言ハル、道理デアラウト思ヒマスカラ、今日裁判官ニ於キマシテモ一回ノ試験デ……元々申セバ試験ナシニ役人ニナツテ居ル者モ試験ヲスルト云フコトニナリ、遂ニ判事檢事モ一回ノ試験ヲ要スルトニモナリマス、夫レデ漸々改良シテ參ル譯デゴザイマスカラ既ニ判事檢事ニ二回ノ試験ヲ要スルニ至ツタ時ニ於テ辯護士ト云フ者モ同一ニ其時ヨリ施行スベキデアルモノガ遂ニ第一期ノ時分ニハ議案ヲ政府ヨリ撤回シ夫レカラ後ハ色々ノ事故ヲ以テ今日マデ成立タズシテ居シ次第デゴザイマス、既ニ後レテ居ル位ノコトデアリマス、最早今日二回ノ試験ヲシテ立派ナ辯護士ヲ追々是レヨリ拵ヘテ行クト云フ準備ヲスルコトハ必要ノコトデアラウト思ヒマス、殊ニ此辯護士法案ニ付キマシテハ衆議院ノ方デモ兎角辯護士ノ便利ノ宜イ様ニ計ルト云ハ抜目ナク十分度、御經驗ノ上デ見エテ居リマスガ、此度ハ二回ノ試験ト云フ所ノ二條ノ二項モ三條モ政府ノ原案ニ同意ノコトガ通過シテ居リマス、夫レ位ノモノヲ今貴族院ガ唯々法律學ノ進歩ヲ妨ゲルト云フ位ノコトヲ以テ之ヲ修正スルト云フコトハ惜ムベキコトデアラウト思ヒマス、依ッテ諸君ニアツテモ衆議院ヨリ出マシタ案ノ通りニ御賛成アラムコトヲ希望致シマス、

○小原重哉君

本員ハ松岡君ノ唯今述ベラレマシタ所ニ賛成ヲ致スノデゴ

ザイマス、裁判所構成法ニ於キマシテ此辯護士ナドノ品體ヲ良クシ品位ヲ尊
ムト云フコトハ固ト定メテアルコトデゴザイマスカラ夫レヨリシテ權衡ヲ生
ジテ參ルデゴザイマスカラ、シテ見マスレバ此二回ノ試験ト云フコトハ最モ
必要ノコトデアラウト存ジマス、依、テ松岡君ニ贊成ヲ致シマス、

〔富井政章君演壇ニ登ル〕

○富井政章君 本員ハ委員會ノ意見ニ贊成スル者デアアル、實務修習ト云フ
コトハ頗ル必要ノコトデアアルト思ヒマス、決シテ實務ノ修習ガ必要デナイト
云フ意見デハナイノデアアル、唯、法律ガ世話ヲ焼イテ實務修習ノ試験ヲ
サセルト云フコトハ甚ダ穩當デナイト思フデアアル、唯今松岡君ヨリ委
員會ノ意見ニ判事檢事ト辯護士ト同一ニ扱フト云フコトガ間違ッテ居ルカ
ラ、夫レハドウ云フ譯カ分ラヌ、ドコガ間違ッテ居ルノカ分ラヌ、故ニ其意
見ガ間違ッテ居ルノデアアル、斯ウ云フ御説デアリマシタガ判事檢事ト辯護士
ヲ同様にセムトスル所ノモノハ即チ辯護士法案デアアル、辯護士法案ノ其規定
ガ間違ッテ居ル、ナゼ間違ッテ居ルカト云フコトハ委員長ノ報告ニモアリマ
ス通リ判事檢事ト辯護士ト著シク性質ノ違フモノデゴザイマス、何レモ大
切ナ司法ノ機關デアアルト云フコトハ一ツデアリマスケレドモ其性質ニ至ッテ
ハ甚ダ相異ル所ガアルノデアアル、何レノ點ニ於テ最モ性質ガ違フト申セ
バ判事ニ於キマシテハ訴訟人ハドコマデモ其裁判ヲ受ケネバナラヌ、イヤト
云フコトハ出來ナイ、之ニ反シテ辯護士ハ訴訟人ニ於テ其人ヲ擇ンデ是レニ
事件ヲ委任スルノデアアル、夫レ故ニ學識ガ本デアリマスニ依ッテ學識ノ
試験ト云フモノガナクテハナラヌ、本員ハ却、テ學識ノ試験ノ方ガ少シク此
法案ノ精神ニ於テ簡ニ失シテ普通ノ教育ト云フモノヲ少シモ構ッテ居ラヌト
云フコトハ却、テ不贊成デアアル、學識ガ本デアリマス、試験ハ必要デアリマス、
併シ慣レガ有ルトカ無イトカ、慣レハ甚ダ必要ナコトデアアルケレドモサウ云
フ判定ト云フモノハ唯、一回ノ試験デ出來ルモノデハナイ、唯、一回ノ訴訟
ノ書式ナドヲ試験ラシテ夫レデ經驗ガアルト云フ様ナコトハ決シテ斷定ノ出
來ルモノデナイト信ジマス、經驗ノ有無ノ判定スルニ最モ適當ナモノハ一般
ノ人民デアリマス、訴訟人デアリマス、學校出立テノ者デアリマシテ全ク經
驗ノナイト云フ者ハ自ラ信用ガナイ、訴訟人ガ訴訟ヲ依頼シナイ、夫レデ
十分デアアル、決シテ此競争場裡ニ立ッテ往クコトハ出來ナイ、稀ニハ學才
ガアッテ實際ノ經驗ガナクモ辯護士ヲヤッテ往クコトハ出來ル者ガアルカ
モ知レヌ、夫レハ却、テ法律ニ於テハ辯護士トスルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ
譯ニナル、夫レ故ニ此後進ノ方向ヲ誤ッテ正當ノ希望ヲ害スル、其結果ト云フ
モノハ一般ノ人民ニ迷惑ヲ及ボシ訴訟人ガ損害ヲ蒙ルト云フコトニナラウ
ト思ヒマス、殊ニ今日ノ如キ學識アル代言人ガ地方ニ乏シイ時ニ於キマシテ

ハ地方ハ最モ不便ヲ感ズルデアラウト思ヒマス、夫レカラ松岡君ハ委員會ノ
意見ハ急激ニ失スルト云フコトガアル、是レハ前ニ云フテアル所ノ判事檢事
ト同一ノモノニスルコト云フコトト矛盾シテ居ル、判事檢事ト同一ニスルガイ
カスト云フコトデアレバ何時シテモイカヌノデアアル、然ルニ急激ニ失スルト
云ハバ先キデ漸々ニヤルハ宜イケレドモ今日ハ惡ルイト云フコトデアアル、此
二ツハ牴觸シタ言葉デアアルト云ハレマシタ、之ニ答フルコトハ甚ダ易イデ
アラウト思ヒマス、辯護士ハ判事檢事トハ資格モ性質モ違ッタモノデアアル、
併シ實務ヲ修習スル場所ト方法ガアレバ或ハ斯ル規則ヲ設ケテモ宜イカモ知
レヌ、寧ろ法律ガ世話ヲ焼ク位ナレバ實務練習ノ出來ル方法ト場所ト考ヘ
テ貰ハナケレバナラヌ、然ルニ此點ニ於テハ政府ハドウ云フ考デアアルカ一
ニ分ラヌ、有名ノ代言人ノ事務所ニ於テ實務ヲ練習スル、是レハ人員ニ限ガ
アル、斯ル方法デハ何程ノ人ヲ世話スルコトモ出來ナイ又決シテ行届クコトデ
ハナイ、實務練習ガ出來ルコトデアハナイ、殊ニ地方ニ於テハ斯ウ云フ先輩ヲ見
附ケルコトガ出來ヌ、ドコデドウシテ實務ヲ練習スルノデアアルカ、例ヘバ裁判
所ニ於テ實務ヲ練習スルコト云フ方法モ一ツ考ヘテ夫レカラ實務練習試験ト云
フモノヲ設ケルノハ又一理アルコトデゴザイマス、實務練習ハ今日ノ有様デ
ハ出來ナイ、夫レハ訴訟人ニ任シテ置イテ宜イ、實務練習ノ試験ヲスルト云
フコトハ甚ダ其當ヲ得ナイモノデアラウト思フ、夫レカラ尙ホ一ツ先程判檢
事トノ比例ニ付テ申シマスコトヲ忘レマシタコトガアリマス、裁判所構成法
ハ決シテ判事檢事ト辯護士ト同一ノモノト見テ居ラナイ、夫レ故ニ委員會
ノ意見ガ行ハレマシテモ決シテ裁判所構成法ノ精神ヲ破ルト云フ様ナコトハ
ナイト思フ、裁判所構成法ニ於キマシテ判事檢事トナルニハ是レノ試
驗ガ必要デアアル、判事ト云フモノハ判決ヲ下シテ訴訟人ガ自ラ選ムコトノ出
來ナイ性質デアアルカラ二回ノ試験ヲスル、即チ判事ニナルノ要件ヲ定メテア
ル、辯護士トナルノ要件ト云フモノハ即チ此辯護士法案ニ定メルデアアル、裁
判所構成法ニ於キマシテハ少シモサウ云フコトハ出來ナイ、唯此六十五條ニ
於キマシテ三年以上辯護士デアッタモノハ判事ニナルコトガ出來ルト斯ウ云
フデアアル丈ケノコトデアアル、併シ先づ三年以上デナケレバナラヌト云フ點
ガ既ニ異ッテ居ル、既ニ裁判所構成法自ラ判事檢事ト全ク同一ノモノト見テ
居ラヌ證據デアアル、夫レカラ判事檢事ニ任セラル、コトヲ得、是レハ唯資格
ヲ定メタコトデ是非判事檢事ニナルコト云フコトハナイ、是非トモ判事檢事
ニ取ル取ラレル權利ヲ持ッテ居ルト云フノデアハナイ、是レハ唯取ル權利ヲ持ッ
テ居ルモノガ取ラムト欲セバ取ルコトガ出來ルト唯資格ヲ定メタ丈ケノコトデ
アリマス、決シテ委員會ノ意見ハ裁判所構成法ニ反シタモノデアアルマイト
思ヒマス、外ニマダ幾ラモ申シマスコトガアリマスケレドモ先づ大體唯今申

シマシタ次第アリマス、夫レ故ニ本員ハ委員會ノ修正ニ同意ヲ致シマス、

○子爵加納久宜君 此試験ニ實務ノ修習ト云フコトハ必要ナルカラ原案ノ通りニシタイト云フ松岡君ノ動議デゴザリマス、是レニハ本員モ尤モ賛成致シマスコトデアリマス、全體試験ニ付キマシテハ學術試験ト事務ノ修習ニ關シマスル手續ト自ラ二段落ガアルノデゴザリマスガ、其第一段落トシテ學術ノ試験ガ必要ナルト云フコトハ固ヨリ論ヲ俟タナイコトデアッテ、第二回ノ事務修習ニ於キマシテハ是レハ學術ニ關スルモノデアラルコト云フト寧ロ是レハ訴訟手續ノ上ニ於テ練習ヲ必要トスル點カラ定メラレタモノデアルト本員ハ思フノデアアル、或ハ夫レハ此訴訟ニ關シテハ刑事訴訟法ナリ民事訴訟法ナリアッテ追々訴訟上ノ相當ノ手續ガ殊ニ頻繁ニ加ヘラレテ參リマスレバ自ラ之ニ付テ證據方法ノ提出、或ハ事實上ノ辯論、書類ノ提出方、之ニ付テノ答辯、又之ニ關シテノ辯駁、夫レ等ニ付テハ夫レ提出スベキ時機ガアレバ辯ゼネバナラヌ手續モアル、致セバ一度此嚴正ナル訴訟法ノ時機ヲ誤レバ提出セザルベカラザル所ノ必要ナル所ノ書類ノ提出モ時機ヲ誤ッテ之ガタメニ不利益ヲ蒙ルコトハ免レナクナリ、又訴訟ノ手續不鍛鍊ナルガタメニ遂ニ裁判ノ敏速ヲ缺クト云フコトハ免レナイ次第ニ至ルノデアリマス、故ニ固ヨリ主トシテ試験ヲスル所ハ學識デアアルガ之ニ附ケ加ヘテナサナケレバナラス所ハ寧ロ職務上相當ノ手續デアアル、故ニ決シテ是レハ目方ニシテ學術試験ト事務修習ト同一ノ程ノ目方トハ本員ハ申サナイノデアアル、恐ラクハ司法大臣ニ於テ此事務修習ノ試験ニ關スル規則ヲ定メテモサカニ裁判所構成法ニアル所ノ判事或ハ檢事ガ試験ヲ經テ後三年間事務修習ヲシナケレバナラスコト云フ長日月ヲ以テサル、ベキ次第デハ萬々ナルマイト信ジマス、之ヲ要スルニ此訴訟ニ關スル所ノ手續ニ付テ不都合ノナキ丈ケヲ修習シ得レバ夫レ足ルコトデアラウト信ジマスカラ自ラ第一回ノ試験ハ嚴正ニシテ第二回ノ試験ハ甚ダ簡單ナルモノデアルト思ハレルノデアリマス、致セバ既ニ社會ノ權利ノ保護者ヲ以テ任ズル程ノ辯護士デアアル上カラハ到底訟廷内ノ手續ナドハドウダカ知ラナイト云フ様ナルモノヲ以テ直ニ之ヲ辯護士ニナレルト認メルノハ甚ダ不親切ナルモノデアアル、苟モ辯護士タル免許ヲ與フル上カラハ獨リ學術ニ於テ厚薄アルノミナラズ又訴訟ノ手續ニ關シテモ時機ヲ誤リ訴訟人ニ關シテ不利益ナル不幸ナル事柄ガナキ様ニマデ致サナケレバナラスコトデアラウト思ヒマス、之ヲ要スルニ一ハ訴訟人ノ便利ノタメ一ハ裁判ノ敏速ノタメ共ニ第二回ノ事務修習ト云フコトノ試験ノ必要ナルコトハ論ヲ俟タナイコトデアラウト存ジマス、先ヅ本員ハ松岡君ノ原案ノ如クセラレムコトヲ希望スルト云フコトヲ賛成致スノデアリマス、

○子爵本莊壽巨君 本員モ特別委員ノ一人デアリマスガ此辯護士法案第三條ヲ改正シタル所ノ結果トシテ第四條及第十八條ヲ修正又ハ削除シタル所ニハ反對デアリマス、此辯護士ガ一回ノ試験ノミヲナシテ二回ノ試験ヲサナケレバナラヌト云フコトニ付テハ判檢事ト比較的ニナラスヨリ不同意ヲ表スル譯デアアリマセス、此實務試験ハ裁判所ニ於テ一定ノ申立ノ書キ様ヨリ證據提出其他諸般ノ事務ヲ自ラ辯護士ノ實務ニ熟練シテ居ル方ガ裁判ノ遲速上ニハ餘程ノ關係ヲ有シマス、殊ニ又目下ノ仕來リニ依ッテ見マスト實際新ニ代言人トナリマスモノハ先輩ノ代言人ノ法律事務所ニ於テ事務ヲ研究シツ、アルコトハ是レ迄ノ仕來リニ於テモ澤山アリマス、又二回ノ試験ヨリ實務修習ハ大イニ利益ノアリマスコトハ代言人ハ固ヨリ人民ノ信用上ヨリ依頼ヲ受クルモノトハ申シナガラ幾百萬圓ノ證書ヲモ己レノ手ノ中ニ握ル譯デアリマス、又一言ノ言フ所ハ幾百萬圓ノ權利ヲモドウモ自由ニスルコトガ出來マスコトハ諸君モ御承知ノコトト存ジマス、故ニ此帝國大學ノ卒業生ノ様ナモノハ格別デアリマススケレドモ不規律ナル所ノ學校ヨリ起ッタ所ノ貧書生ガ僥倖ニモ辯護士ノ試験ニ及第セヌトモ圖ラレマセス、夫レ等ノ者ハ昨日マデハ破窓ノ下ニ呻吟シテ居ル者ガ明日ハ代言人トナルヤ幾百萬圓ノ證書及權利ヲ自由ニスルコトガ出來マスカラ其間ニ於テ又如何ナル詐僞ノ手段ヲ施シテ金員ヲ貪リ取ラヌトスルノ企テナサヌトモ計ラレマセス、故ニ東京ノ如キ代言人ノ多クアリマス所ハ固ヨリ突キ出シ代言人ハ人民ノ信用モナケレバ又依頼人モ少クアリマスカラサウ云フ不都合モアリマスマイケレドモ、各縣ノ地方ニ於キマシテハ少シ許リノ代言人ヨリアリマセヌカラ優勝劣敗ノ憂モアリマセス、唯漫然辯護士トナッタ者ハ辯護士ノ職務ニ執掌シツ、出來マス人民ノ好ミニ應ジテ之ガ代言人ニ依頼スルト云フ譯ニハイキマセヌ、所謂一地方ノ訴訟ト云フモノハ僅ニ一二名ノ辯護士ガ占メテ己レノ餌トナスコトガ出來マス、此ニ一例ヲ舉ゲテ見マスレバ鹿兒島ノ如キ宮崎ノ如キ孰モ一縣三四名ノ代言人ヨリホカアリマセヌ、然ルニ是レガ二回ノ試験ヲナストキニハ辯護士タルモノノ途ヲ壅イデ益々地方ノ辯護士ヲ乏シウスル様ニナルト云フ御議論モアリマセウケレドモ決シテ左様ナコトハアリマセヌ、東京ハ最早代言人モ十分アリマスカラ是レカラ辯護士トナル者ハ到底東京ノ様ナ所ニ於テ辯護士ニ從事シテ行ケバ先輩ノ辯護士ヨリ壓セラレマスカラ假令實務ノ修習二回ノ試験ガアルニモセヨ十分地方ニ往ッテ辯護士ノ事務ヲ執掌スルトカ即チ郷里ニ於テ開業スレバ萬般便利モアリマスカラ夫レ等ノコトハ導カンデモ決シテ差支ハアリマセヌ、寧ロ不正ノ辯護士ヲ多ク生ズルヨリハ品行方正實著ナル所ノ辯護士ヲ置ク方ガ人民ノ權利ヲ安全ニシテ行ク所カラ見テモ宜シイコトト信ジマス、夫レ故尙更辯護士ノ實務試験ノ必要ハ傍ラ辯護士其者ガ實務修

習中ニ人民ヨリ依頼ヲ受ケタル所ノ事柄ニ付テ信實ニ取扱フナシ夫レニ對シテ不正ノ行爲モナキ者ハ他日辯護士トナルモ敢テ過チガナキノミナラズ先ヅ不正ノ行爲ヲナスコトガ愈少イモノト思ハレマス、少イコトニナレバ愈人
民ガ辯護士ヲ便リテ事ヲ依頼スルニモ十分信用モ置キマス、夫レ等ヨリ見マシテモ辯護士タル者ハ品行ガ正シクアリマシテ實著ニ依頼ノ事件ヲ取扱フテ行カナケレバナリマセヌ、夫レ故最モ鄭重ニモ鄭重ヲ加ヘテ人民ニ損害ヲ與ヘ或ハ不正ノ行爲ガナキ様ニスルコトガ肝腎デアリマス、依ッテ實務修習ハ傍ラ辯護士タル者ノ行爲ニ付テ不正ノ行爲アルヤ否ヤヲ匡正シ又一方ニハ其辯護士ノ品位ヲ高ウスル譯デアリマス、或ハ判檢事ト辯護士ト比較シテ其權衡ヲ保タナケレバナラナイカラ此様ニ二回ノ試験ヲセナケレバナラヌト云フ御議論モアリマセウケレドモ強チ其點ヨリノミ二回ノ試験ヲスル譯デアリマセヌ、判檢事ハ裁判所ニ於テ判決ノ効力ヲ持ッテ居リマス、辯護士ハ其効力ハアリマセヌカラ即チ人民ノ依頼ニ依ッテ優勝劣敗ニ任セテ置イテ宜シイト云フ御議論モアリマセウケレドモ、判事ノ裁判ノ効力ト云フモノハ固ヨリアリマスケレドモ即チ合議裁判ノ制モアツテ鄭重ニモ鄭重ヲ加ヘテ事ヲ處シテ行ク其判檢事スラ二回ノ試験ヲ受ケナケレバナラレマセヌ、又區裁判所ノ如キモノハ成程一名ノ判事ノ判決デアリマセウケレドモ夫レニハ控訴スル道モアリ又上告スル道モアツテ漫然判決ヲ失スル様ナコトハ決シテアリマセヌ、故ニ辯護士ハ判決スル効力ハ持チマセヌケレドモ直接人民ノ權利ヲ左右シテ行ッテ幾百萬圓ノ證書ヲ己レノ掌ノ中ニ自由ニスルコトハ判決ノ類ヒデハアリマセヌ、左スレバ實務ノ修習ハ十分人選ノ上デ一本立チデ十分辯護士ノ事務ニ從事シテ行ッテモ差支ノナイ様ニシタル方ガ大イニ人民ニ於テ便益ヲ與ヘルコトニ於テモ肝腎ノコトト信ジマス、故ニ私ハ衆議院ノ贊成シタル所ノモノハ實ニ當ヲ得テ居ル所ノ案ト考ヘマスカラ衆議院ヲ通過シタル所ノ案ニ贊成ヲ致シマスカラ何卒ドウゾ特別委員ノ修正第三條ハ衆議院通過案ノ通リニ贊成ニナラムコトヲ諸君ニ望ミマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 最早時刻ニ至リマシタニ依ッテ一應休憩致シマス、

午後零時六分休憩

午後一時二十分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今伊藤總理大臣ガ發言ヲ御求メニナリマシタニ依ッテ是レヨリ發言ヲ許シマスルデ左様御承知下サイ、

○國務大臣(伯爵伊藤博文君) 諸君、昨年議會開會ノ前ニ方リマシテ私ハ不慮ニ負傷致シマシタガタメニ爾來數月ノ間、當然ノ職務ヲ盡スコトガ出來

マセヌデ、今日マデ諸君ニ面接シテ國務ヲ處理スルコトガ出來ナカッタノハ如何ニモ遺憾ト存ジマス、然ルニ其當時本院ニ於キマシテハ本院ノ議決ヲ以テ鄭重ナル御慰問ヲ辱ウ致シマシタ、今日ハ右ノ御厚意ニ對シテ一片ノ謝辭ヲ呈シマスル、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 何分定足數ニ滿チマセヌニ依ッテ本日ハ是レニテ延會ヲ致シマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、辯護士法案、政府提出衆議院送付、第二讀會、前會ノ續、本日ハ散會、午後一時二十五分散會